

平成 20 年度 後期

お茶の水女子大学・アプリカ特設講座
チャイルド ケア アンド エデュケーション
～子ども幸せ学の探求～

科目等履修生募集要項

お茶の水女子大学

I. 特設講座について

1. 講座の概要

(設置)

- 特設講座「チャイルド ケア アンド エデュケーション」は、アップリカ葛西株式会社の資金提供により、お茶の水女子大学とアップリカ葛西株式会社との協力によって設置されたものです。

(目的)

- 本講座は、現職にあつて保育に従事する人たちに、資質向上のための学習の機会を提供することを目的としています。

(講座の対象)

- 受講者は、原則として現職の保育者（保育所等に勤務する保育士・幼稚園に勤務する教諭）を対象とし、科目等履修生として受入れをします。ただし、子育て中の父母や、保育の勉強を希望する一般社会人も、定員に余裕があれば受講可能です。また、正規学生の受講を認めます。
- 本講座は、保育に従事する人たちが、短期大学や専門学校で学ぶ機会のなかったより高度な保育領域（たとえば、「保育臨床演習」「乳幼児の発達と脳科学」など）や新しい研究成果を学ぶことに中心を置くものです。なお、資格取得を目的とするものではありません。

(単位の認定)

- 受講生は、お茶の水女子大学科目等履修生として登録され、どの科目も授業回数15回の内、3分の2以上を出席し、さらにレポート等による評価に基づき合格した者に単位が認定されます。

(学位授与機構)

- 本講座で開設する授業科目の単位を修得するなどして、必要とする基礎資格と単位を満たせば、「大学評価・学位授与機構」によって「学士（教育学）」を取得することが可能となります。

(大学院進学)

- 必要単位を修得し、学士の学位を授与された者は、大学院の受験資格が得られることとなります。

Ⅱ. 科目等履修生募集要項

1. 募集定員数

講義・演習・実習（ゼミ）によって30～10名とします。

- ① 科目単位で募集し複数科目受講することができます。
- ② 授業の形態には講義形式、演習形式、実習（ゼミ）形式があります。
授業形態の別は、開講授業科目一覧の履修上の注意点1を参照してください。

2. 出願資格

当該特設講座の科目等履修生は、次の各号いずれかに該当する者とします。

- 一 保育士又は幼稚園教諭の資格を有する者
- 二 短期大学若しくは高等専門学校を卒業した者
- 三 その他本学において前2号に規定する者に準ずると認めるもの

3. 出願期間

《後学期受付》

◇ 平成20年 8月 4日（月）～ 8月 9日（土） 【消印有効】

※ 後学期受付は、後学期開設科目のみの受講申込みになります。

（出願書類提出先）

お茶の水女子大学 教務チーム

〒112-8610 東京都文京区大塚2丁目1番1号

（TEL 03-5978-2723）

◆大学ホームページ <http://www.ocha.ac.jp/>

4. 出願手続き・提出書類

出願は、次に掲げる該当する書類を指定の期日（締切日当日の消印有効）までに指定の封筒にて簡易書留で郵送してください。出願書類に不備がある場合は、受付できません。

出願書類			○：提出書類		
資格			保育士又は幼稚園教諭の資格を有する者		保育士及び幼稚園教諭の資格を有しない者
			現職者 注1)	現職以外	
出願書類					
1	入学願書	別紙様式 注2)	○	○	○
2	在職証明書	勤務先所属長が作成したもの。様式は任意。	○		
3	資格を証明するもの	保育士の資格を有していることを証明するものの写し、又は幼稚園教諭免許状取得証明書若しくは同免許状の写し		○	
4	卒業証明書	最終出身校の長が作成したもの 注3) ※本学卒業者は不要			○
5	健康診断書	別紙様式	注4)	○	○
6	志望理由書	別紙様式 注5)	○	○	○
7	検定料	9,800円 注6)	○	○	○

注1) 現職者とは、保育士若しくは幼稚園教諭として関係機関に勤務している者。

注2) 写真は、カラー正面上半身脱帽 縦4cm×横3cm。

連絡先には、至急連絡がとれる電話番号（携帯電話番号等）を記入すること。面接該当者には、連絡日に連絡先へ電話をする。

前学期において、本特設講座科目等履修生となっている者が後学期も出願する場合、改めて所定の手続き（志望理由書等の出願書類提出）が必要となる。

注3) 前年度において、本特設講座科目等履修生となっているものは不要。ただし、変更があった場合は提出すること。また、卒業後改姓があった場合は、戸籍抄本（謄本）を添付すること。

注4) 現職者で、過去一年以内に健康診断を受けている場合は、「健康診断書」の提出は不要。

注5) 本学の書式に沿って各受講科目につき600字程度。開講授業科目一覧を熟読し、その内容を盛り込んで、あなたの学びたいことを科目ごとに具体的に記述すること。

注6) 出願前に検定料を納入し、その納入済票（振込請求書兼受領証）を入学願書裏面に貼付すること。正し、前学期特設講座科目等履修生が後学期出願する場合、新たな検定料は不要です。

注7) 提出した書類は返還しない。

5. 選考方法

可否については、次のことがらを考慮して選考します。

- ◇ 現職の保育者を優先します。(保育所等に勤務する保育士・幼稚園に勤務する教諭)
- ◇ 同一組織・機関の受講者は人数を限定します。
- ◇ 提出していただいた志望理由書をもとに評価します。
- ◇ 継続履修者については、過去の本講座の受講履歴、出席状況等を参考にします。
- ◇ 過去に受講放棄した者、出願書類(志望理由書)に不備があった者には、面接を行います。
※面接該当者のみに、連絡日に電話連絡をします。

面接該当者への連絡 8月20日(水)、 面接日 8月22日(金)夕方

6. 合否発表

《後学期受付》

- ◇ 平成20年 9月10日(水)頃
 - ※ 出願書類(連絡先)の住所に発送します。
 - ※ 電話・メール等による可否の問い合わせには応じません。

7. 履修手続き

受講が認められた者には、履修生登録の手続きの書類を送付しますので、下記指定の期日内に登録料及び授業料をお支払いください。 【期限厳守】

登録料(年額) 2,000円

授業料

区 分	授 業 料
1学期6単位未満の履修者	1単位につき 10,000円
1学期6単位以上の履修者	1学期 60,000円

- ※ 各自、履修する単位に留意指定、上記受講料の基準に沿ってお支払いください。
- ※ 所定の授業料は手続き期間中に指定する金融機関の口座に振り込んでいただきます。
- ※ 授業料は、前学期・後学期分納となります。
(前期履修中で後期も受講希望の方は、後期の受講料のみを納入ください。)
- ※ 合格後、入学を辞退する場合又は科目履修を取り下げの場合は、入学辞退届(科目履修の取下げの場合は、科目履修取下げ願)を教務チーム教務係へ提出して下さい(様式は任意)。

(入学手続期間)

◇ 平成20年10月 1日(水) ～ 平成20年10月10日(金)

入学を許可された受講生は、この期間内に手続きを行えば、手続きが授業初日より後になっても受講できます。

8. 注意事項

- ◇ 本講座は、保育士資格取得及び教育職員免許状取得を目的としたものではありません。
- ◇ 一度、納付された検定料、登録料、授業料は返還しません。なお、前学期特設講座科目等履修生が後学期出願する場合、新たな検定料・登録料は不要です。
- ◇ 出願書類提出後の履修科目の変更は認められません。
- ◇ 出願書類に虚偽の記載があった場合は、入学を取り消すことがあります。
- ◇ 特設講座以外の本学学部の授業科目の履修を希望する場合は、別途手続きが必要となりますので、教務チームへお問い合わせください。
費用は以下の通りです。(予定額であり、改定する場合があります。)
検定料 9,800円 登録料 2,000円 1単位-授業料 14,400円
- ◇ 8/13～15、土・日曜日、祝日は、事務の受付は行なっておりません。

9. 問い合わせ先

お茶の水女子大学 教務チーム教務係

〒112-8610 東京都文京区大塚2丁目1番1号

TEL 03-5978-2723

(平日 8:30～17:15)

※8/13～15、土・日曜日、祝日は、事務の受付は行なっておりません。

Ⅲ. 開講授業科目一覧

【学 期】 後学期 10月～3月 授業開始日 10月 1日（水）から

【授業時間帯】 ◇月曜日～金曜日 夜間開設 11・12 時限
◇集 中 1 ～10 時限
(日程は、科目ごとに示すとおり)

9 : 0 0 ～ 1 0 : 3 0 (1 ・ 2 時限)
1 0 : 4 0 ～ 1 2 : 1 0 (3 ・ 4 時限)
1 3 : 2 0 ～ 1 4 : 5 0 (5 ・ 6 時限)
1 5 : 0 0 ～ 1 6 : 3 0 (7 ・ 8 時限)
1 6 : 4 0 ～ 1 8 : 1 0 (9 ・ 1 0 時限)
1 8 : 2 0 ～ 1 9 : 5 0 (1 1 ・ 1 2 時限)

- ◇ 2単位の科目は原則として90分講義15回で構成
- ◇ 1単位の科目は原則として90分講義7回、45分講義1回で構成

【開 講 授 業】

○コミュニティ保育教育論Ⅱ 後学期 2単位 月曜日 11・12時限
担当：長谷川 武弘

近年、保育、教育現場において遭遇する問題に対処するには、地域を包括した対応が必要となってきた。コミュニティ保育教育論Ⅱは、Ⅰの応用編として、地域を巻き込んだ保育・教育実践のあり方を探る。前半は担当教員がコミュニティに関わる実践事例を数例紹介する。これを基にコミュニティ実践の実際に触れ、またそれぞれの立場での考えをまとめ、議論を行う。後半は受講生が関わる現場の取り組みをコミュニティ実践の観点からまとめ、数例を実践事例として取り上げ発表をしていく。また、取り上げた実践事例を基に、毎回これらについて議論を交えて検討していく。

○子どもと家族 後学期 2単位 火曜日 11・12時限
担当：牧野 カツコ

日本の乳幼児が育つ環境としての家族と家族関係の特徴を理解し、子どもの発達に家族がどのような影響を与えるかを考察する。

(1) 家族とは何か (2) 日本の家族とその変化 (3) 子どもにとっての現代家族の構造的性質 (4) 子どもにとっての現代家族の機能的性質 (5) 現代家族の母子関係 (6) 現代家族の父子関係 (7) 現代家族の夫婦関係 (8) さまざまな家族と子ども (9) 地域社会の中の家族と子ども (10) これからの家族と子ども

○乳幼児の発達と脳科学Ⅱ

後学期 2単位 水曜日 11・12時限

担当：榊原 洋一

進歩の著しい脳科学的見地から、乳幼児の脳発達について基礎的な知識を学び、さらにさまざまな発達上の障害について、脳機能画像所見なども含めた最新の治験を紹介する。

てんかん、脳性まひ、ダウン症候群といった従来からよく知られている発達障害について概説した後、近年注目されている高機能自閉症、アスペルガー症候群、注意欠陥多動性障害など、頻度の高い発達障害について詳しく説明する。

○保育実践研究Ⅱ／Ⅳ *

後学期 2単位 木曜日 11・12時限

担当：講座スタッフ

保育実践研究Ⅰ～Ⅳは、3人の専任教員が分担して担当します。

この科目の履修希望者は、担当者の名前を明記して志望理由書を書いてください。

また、この科目は通年履修を前提とします。

(大戸担当分)

保育実践の質の向上の手法として世界的に注目されている「ドキュメント作り」の演習を行なう。実践を映像化したさまざまなドキュメントに学びつつ、自らの保育の現場について独自の切り口から継続して記録を取り、保育環境や子どもの行為の持つ意味、あるいは保育者の活動等について見直しを行なう。Ⅰ／ⅢとⅡ／Ⅳは同時開講であるが、Ⅰ／Ⅲの受講生は、ドキュメント作りの基礎的な学習として多様なドキュメントを見て学び、Ⅱ／Ⅳの受講生は一定のテーマのもとにドキュメントを実際に創作することを課題とする。

保育の現場を持ち、またデジタルカメラやパソコンの操作ができる方の受講を望む。

(榊原担当分)

どの園にもいる、いわゆる「気になる子どもたち」とは何か、その特徴について基礎的な知識を身につける。さらに、気になる子どもたちへの対応の仕方や、保護者との協力体制の作り方などについて、学ぶ。

最後に受講者の経験した事例について現場でのドキュメンテーション、対応策の検討を通じて、研究内容を実践に生かす道を探る。

(長谷川担当分)

長谷川が担当する保育実践研究では、子どもに対する疑問や保育場面における疑問を、心理学の研究法を拠り所に実験研究や調査研究を行い掘り下げていく。授業はすべてディスカッションを中心としたゼミ形式で行い、必要に応じて講義も行いながら進める。

Ⅰ／ⅢとⅡ／Ⅳはそれぞれ同時に開講するが、Ⅰ・Ⅱでは、前半ではその基礎となる心理学の研究法について講義を中心に学び、後半では研究テーマの絞り込みとプランニングを行う。特に後半では、各自が持っている疑問・興味に基づいた研究テーマが見つけれられるよう、関連する文献の読みすすめを通して焦点を絞り込み、具体的に心理学の研究法に則った研究として組み立てていくことができるよう指導する。研究プランができ次第、実際の調査・実験に着手し、得られたデータの解析・検討を行う。実験の予行練習や予備実験、予備調査なども必要に応じて行っていく。取り扱うことが可能なテーマとしては、保育場面や子育てに関する質問紙を用いた調査研究や子どもの認知機構を調べるような実験研究、大人を対象にした脳波を用いた脳機能研究などがある。

Ⅲ・Ⅳでは同時平行で開かれるⅠの心理学の研究法について確認をしながら、これまで行った研究に関連する文献を検索し読みすすめる。これまでに行った研究を継続してデータ収集・解析も行う。また、後半ではこれまで行ってきた研究を、簡単な論文の形になるようまとめの作業を中心に進めていく。

(保育実践研究Ⅲ、Ⅳは、Ⅰ、Ⅱを受講していることが前提となる)

○比較保育学Ⅱ

後学期 2単位 金曜日 11・12時限

担当：大戸 美也子

0歳から幼児期または児童期を見通した一貫したカリキュラム作りが、世界的に進展しつつある。特に、本年9月より実施されるイギリスの Early Years Foundation System やドイツの乳幼児期プログラムを中心に、その基本的な考え方及び具体的な展開について紹介しながら、わが国における幼保一体的運営や幼保・小の接続の考え方と比較検討する。

○幼児理解とその方法Ⅰ

後学期（集中） 1単位 土曜日 3日間

①10/25(土)5~9限 ②11/15(土)5~10限 ③12/6(土)5~8限

担当：内田 伸子・大戸 美也子・刑部 育子・柴坂 寿子・浜口 順子

幼児は行為を通して様々なメッセージを発信している。そのため、幼稚園教諭には、幼児の行為を観察しそこに内包されている意味を読み取る力が強く求められているのである。本授業では、発達心理学と保育臨床学の専門家がオムニバス方式で、幼児理解の方法に関する最新の知見を提供しまた応用の機会を用意し、保育者の専門性をさらに磨き幼稚園教育の質の向上に役立てることを目指している。

(1) 発達の可塑性～子どもは変わる・大人も変わる〔担当:内田伸子〕

被虐待児の事例を中心に、発達のやり直しや修正がどのような人々のかかわり方で効力を持つていくかを検討していく。

(2) 幼児理解の方法 その①〔担当：浜口順子〕

保育実践の省察における言語化（記録化、話し合い）の作業が、子ども理解および保育研究とどのようにかかわるかを考える。

(3) 幼児理解の方法 その②〔担当：柴坂寿子〕

幼稚園での子どもの観察事例を挙げながら、観察者という立場から子どもを理解しようとするときの方法を紹介する。

(4) 幼児理解の方法 その③〔担当：刑部育子〕

幼児の行為を見ることをグループで共有し、議論することを通じて、自分とは異なる見方があることに気がつき、保育の実践がより豊かにイメージできるようになることを目指す。幼児理解の方法の一つとしてこの回では参加共有型デザイン手法を応用し

実践する。

(5) 幼児理解の方法 その④〔担当：大戸美也子〕

大勢の子どもが雑多な行為を展開している保育現場で、何をどのように記録や映像に残したらよいか、また残した記録を活用してどのようにドキュメント作りができるかを具体的に演習する。

(6) まとめ

○保育システム論

後学期（集中） 2単位 土曜日3日間 1~10時限

①2/7(土) ②2/21 ③2/28

担当：村山 祐一・亀井 美登里

少子化、核家族化が進行し、育児の経験の少ない親が子育てをする時代になっている。保育士や幼稚園教諭に対して、「子どもを預かる」「幼児教育」を行うという当初の社会の要請は、大きく「幅広い育児支援を行う」方向に変わりつつある。認定子ども園の試行が行われる中、保育所保育指針や幼稚園教育要綱の改定作業も進行中である。このような大きな変革を遂げつつある日本の保育を、改めて根本から概観することが本講座の目的である。

（「発達障害の医学」と同日程での開講であるため、本科目を履修する場合「発達障害の医学」の履修はできません）

○発達障害の医学

後学期（集中） 2単位 土曜日3日間 1～10時限

（①2/7(土) ②2/21 ③2/28）

担当：榊原 洋一

2003年に文部科学省が全国の通常学級に通っている小中学生4万人あまりを調査したところ、その6.3%が「発達障害」と呼ばれる、学校での教育に際して特別な支援が必要な子どもであることが明らかになった。発達障害には、注意欠陥多動性障害、高機能自閉症、アスペルガー障害などが該当し、乳幼児期からその行動の特性が明らかになり、いわゆる「気になる子ども」の多くの原因であると考えられる。

本講座では発達障害の基礎と、基本的な対応方法について学ぶ。

（「保育システム論」と同日程での開講であるため、本科目を履修する場合「保育システム論」の履修はできません）

【履修上の注意点】

1. *は実習（ゼミ）形式、これら以外は講義形式での開講となります。
2. 「比較保育学」、「乳幼児の発達と脳科学」、「幼児理解とその方法」の各科目はⅠ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳのどれからでも履修可能です。
3. 「保育実践研究」、「コミュニティ保育教育論」の各科目は一年を通しての履修（通年）を前提とします（Ⅰのみ、Ⅱのみ、Ⅲのみ、Ⅳのみの履修は原則として認めません）。
4. 「保育実践研究Ⅱ」は、今年度までにⅠを履修し単位も取得できている場合、もしくは取得見込みである場合に受講することができます。「保育実践研究Ⅳ」は、今年度までにⅢを履修し単位も取得できている場合、もしくは取得見込みである場合に受講することができます。この二つの科目の履修に際しては、後期からのみの受講はできません。
5. 集中講義の「保育システム論」と「発達障害の医学」はそれぞれ同日程での開講であるため、二科目のうちどちらか一科目しか受講できません。
6. 一度履修した科目は、原則として毎年の授業内容が同じであるため、単位取得が出来なかった場合を除き、2回目以降の履修はできません。

【連絡事項】

1. 教科書・参考書・参考資料等については、それぞれ別途指示します。

平成 20 年度 時 間 割

後 学 期 (11・12 限 18:20~19:50)

開 催 日	科 目 名	講 師
月	コミュニティ保育教育論Ⅱ	長 谷 川
火	子どもと家族	牧 野
水	乳幼児の発達と脳科学Ⅱ	榊 原
木	保育実践研究Ⅱ/Ⅳ	講座スタッフ
金	比較保育学Ⅱ	大 戸

集 中 (後学期) (土曜 3 回 ①10/25 ②11/15 ③12/6 5~10 限 13:20~18:00)

土 曜 日 3 日 間	①10/25 5~9 限	幼児理解とその方法Ⅰ	内田・大戸
	②11/15 5~10 限		刑部・柴坂・浜口
	③12/6 5~8 限		大戸

春 期 集 中 (後学期) (土曜 3 回 ①2/7 ②2/21 ③2/28 1~10 限 9:00~18:10)

土 曜 日 3 日 間	①2/7	保育システム論	村 山
	②2/21		亀 井
	③2/28		亀井・村山
土 曜 日 3 日 間	①2/7	発達障害の医学	榊 原
	②2/21		
	③2/28		